

【樹木の部屋】

マンサク (マンサク科マンサク属 Hamamelis japonica)

和名：マンサク (満作、万作、金縷梅) **別名**：ネソ **英名**：Japanese witch hazel

ユキノシタ目 落葉小高木 **原産地**：日本

花言葉：呪文、魔力、靈感、ひらめき

花色：赤、橙、黄、茶



←↓ 写真-1、2 マンサク

撮影日：2016年2月2日

撮影場所：長門温泉(山口県)にて

撮影者：M さん



長門温泉(山口県)の宿で見かけました。

マンサクは冬の名残のある野山などで、木々の芽吹きも始まらない季節に、黄色の花を咲かせ、いち早く春の訪れを告げる花木です。

マンサクの語源は明らかではないそうですが、早春に咲くことから「まず咲く」「真っ先」が変化した説や、花がよく咲けば豊作、花が少なければ不作など、稲の作柄を占う植物として古くから人との深いつながりを持ち、そこから満作(マンサク)の名がついたとも言われているそうです。

2～3月に葉に先駆けて花が咲き、花には萼、花弁と雄蕊および仮雄蕊が4個ずつあり、雌蕊は2本の花柱を持ちます。萼は赤褐色または緑色で円く、花弁は黄色で長さ1.5cmほどの細長い紐状になります。葉は互生し、楕円形で波状の鋸歯があります。

落葉期に咲くため、小さいながらも花がよく目立ちます。美しい紅葉も楽しめ(10月中旬から11月)、水平に伸びる枝には整然とした美しさがあります。成長が遅い

ので、狭い場所にも植えることができます。

果実は蒴果で、2個の大きい種子を含む。果実はハウセンカなどとおなじく成熟後に乾燥することで皮が裂け種子が飛び散ります。

<ちょっと一言>

マンサクのほか、シナマンサク(支那満作: *Hamamelis mollis*) や、両者の交配種も出回っているそうです。マンサクは黄花でやや控えめな印象ですが、シナマンサクや交配種は花が大きく、黄から濃赤色まで花色も豊富です。いずれの品種も丈夫で寒さに強く、栽培は容易だそうです。